



新東名高速道路建設に伴う発掘調査成果

# 伊勢原市 No.123 遺跡

(公財)かながわ考古学財団

## 中世の大形建物跡を発掘

### 伊勢原市 No.123 遺跡の発掘調査

伊勢原市子易に所在する伊勢原市 No.123 遺跡は、中日本高速道路株式会社が計画する新東名高速道路建設に伴う事前調査として、2012年9月から発掘調査を実施しています。

今回の調査は、以前、当財団で調査を行った子易・大坪遺跡の隣接地 2 地点を対象として実施したもので、これまでに、中世の掘立柱建物跡、竪穴状遺構、石組遺構、区画溝や、弥生時代の土坑、縄文時代の敷石住居跡、陥穴状土坑などが発見されています。特に、中世の掘立柱建物跡は、建て替えを含め、少なくとも 4 棟以上が確認されており、鈴川右岸の段丘上に展開する居館跡として貴重な発見といえるでしょう。



遺跡位置図

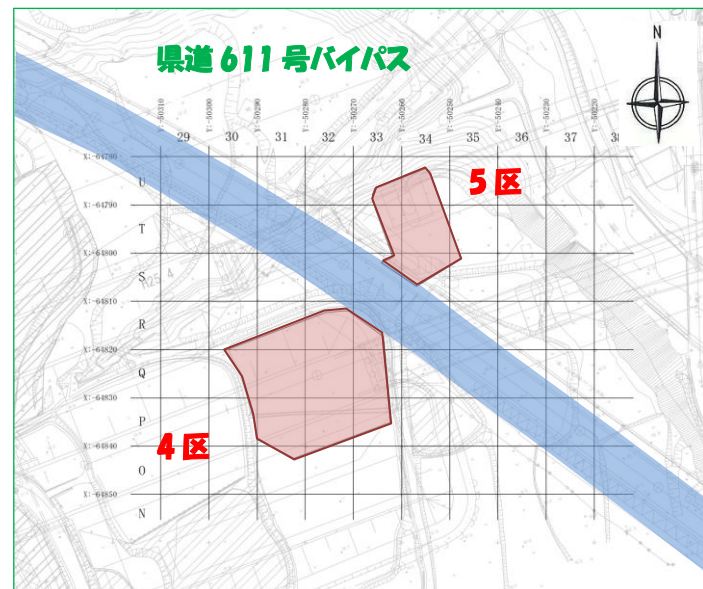
### これまでに発見された遺構

#### 伊勢原市 No.123 遺跡 4区

- 中・近世：段切状遺構、石垣、土坑、水田跡
- 中世：掘立柱建物跡、竪穴状遺構、石組遺構、溝状遺構、焼土址、配石遺構、土坑、ピット
- 弥生時代：土坑
- 縄文時代：敷石住居跡、陥穴状土坑、土坑

#### 伊勢原市 No.123 遺跡 5区

- 近世：段切状遺構、礫集中、土坑
- 中世：竪穴状遺構、溝状遺構、焼土址、陥穴状土坑、土坑、ピット
- 縄文時代：溝状遺構、石器集中、ピット

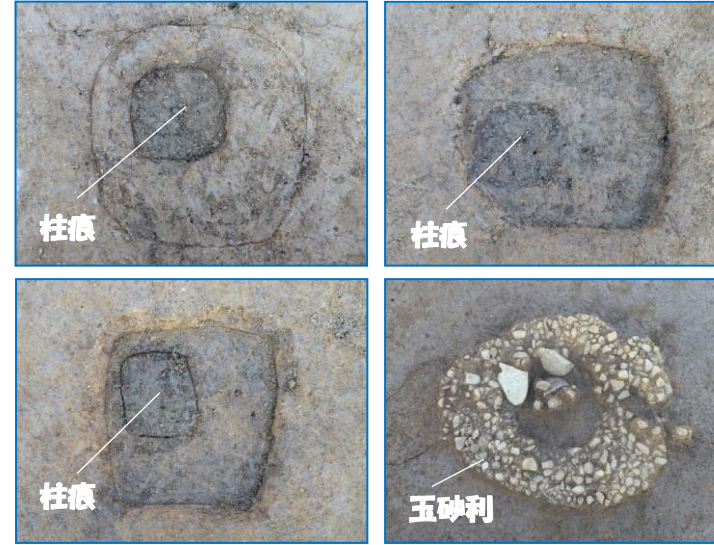


伊勢原市 No.123 遺跡調査区配置図

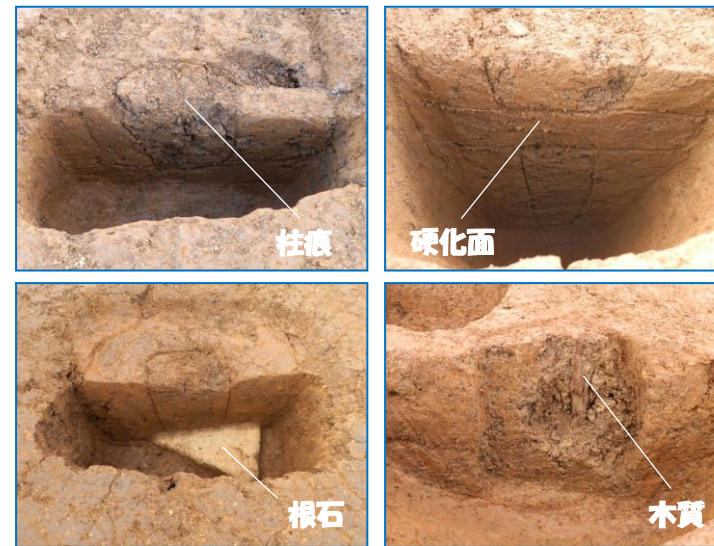


伊勢原市 No.123 遺跡遠景(南東から)

### 柱痕検出状況(平面)



### 柱痕検出状況(断面)



### 柱穴完掘状況



4区 石組遺構(西から)

5区 区画溝(西から)

左上の写真は、4区北西部で発見された中世の石組遺構と、近世以降の石垣です。人頭大を超える大形の河原石が集中的に配されたもので、今回発見された建物群と関連のある施設だと思われますが、詳細はよく分かっていません。礫に混じって、かわらけや常滑の甕、石臼、銅製品、鉄製品などが出土しています。

右上の写真は、5区で発見された区画溝です。子易・大坪遺跡の調査で、この溝の西側延伸部分が見つかっていましたが、今回の調査において、この溝が建物群の北縁を画することが明らかになりました。



2号掘立柱建物跡

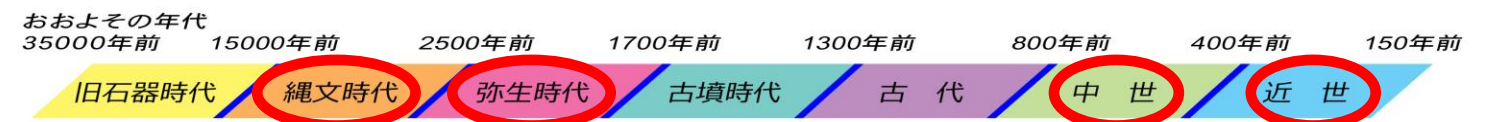
3号竪穴状遺構

3号竪穴状遺構

遺構外

4区 中世面遺物出土状況(かわらけ・鉄鏝)

上の写真は、4区で発見された掘立柱建物跡を構成する柱穴の個別写真です。柱穴は方形を基調とし、明瞭な柱の痕跡を確認することができます。柱の大きさは10~12cm角のものが多く、やや小ぶりな印象を受けます。柱穴底面の状況は様々で、柱根部が据えられた柱あたりが明瞭に確認できるもののほか、根石が設置されているものや、底面を突き詰めて硬化面を形成しているものも存在します。



赤丸は、今回の調査で発見された遺構・遺物のおおよその時期を示しています。



新東名高速道路建設に伴う発掘調査成果  
伊勢原市 No.123 遺跡

2013年2月9日  
公益財団法人 かながわ考古学財団  
〒232-0033 横浜市内南区中村町 3-191-1  
Tel. 045-252-8689 <http://kaf.or.jp/>